
太陽系の新惑星

タケノコ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

太陽系の新惑星

【Nコード】

N0469I

【作者名】

タケノコ

【あらすじ】

太陽系に突然、新たな惑星があらわれた。進歩した地球の先遣隊が出発したのだが……。

「やっと近くまで来ましたね、^{エース}船長」
そう話しかけて来たのは、当宇宙船の副船長を務める河澤^{かわざわ}氏である。

「ああ、地球を出て十年。ようやくたどり着いた」

二人は操縦室の巨大モニターに映る惑星を感慨深げに眺めていた。

「船長、コンピューターによる解析の結果ができました」
操縦士の報告を受け、続きを促す。

「新たな惑星は極めて月に類似しており生物は皆無、岩や石等を
主としてできて……」

新たな星とは突如太陽系に姿を現し、あたかも初めからそこに
いたかのように存在を示す巨大な惑星である。それに興味と不安を
示した各国が協力し先遣隊として宇宙船を送ったのだが――。

「……先に到着したはずの宇宙船の姿はどこにもありません」
どよめく船内。

「静かに！とりあえず信号が途切れたポイントへ向かうことにしよ
う。幸い危険な生物もないことだしな」

船長の恫喝と指示で慌ただしく動き出す船員達。

「まるで月面を歩いているようだな。しかし何も無い。あるものと
いえば岩と石、そしてこの小さく長い切れ込み。ただそれだけだ」
船長から船員まで総出で搜索しているにもかかわらず船跡一つ見

つけられなかった。

「船長！船長！切れ込みから先遣隊と思われる船の一部が飛び出しています！」　地面より延びる部品を見つめる一同。

「確かに、これは先遣船についていたシンボルマーク——」　そこで、突然の揺れが襲って来た。

「いかん！急いで船に逃げろ！」

船長の命令も虚しく、小さかった切れ目は深く大きく、まるで星が口を開いたかのように広がり宇宙船ともども、乗り組員達は次々に吞まれていった。

誰もいないはずの太陽系の新惑星、そこで声がした。

「なかなか美味かったな」　その声は地中より響いていきっているように……。

{おしまい}

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0469i/>

太陽系の新惑星

2010年10月26日05時53分発行